

山川前田遺跡で発見された水縄断層



文化財マップ

山川校区の

■ 山川校区の歴史

山川校区は高良山と筑後川に挟まれ、高良山と筑後川が最も接近した場所にあります。校区は山川町と太郎原町にまたがり、東部土地区画整理事業によって旧山川町の北部は昭和62年に町名変更され、現在に至っています。

山川校区では、筑後川に近い微高地の安国寺遺跡や野口遺跡で約2万年前の旧石器が出土しており、旧石器人たちの狩場だった様子が浮かびます。縄文時代には、安国寺遺跡と野口遺跡で大量の縄文土器や石器が出土します。約1万年前の早期から約3000年前の晩期まで、くり返し営まれた縄文人の生活の痕跡が垣間見えます。

弥生時代になると、筑後川に近い微高地上に安国寺甕棺墓群が営まれ、新婦遺跡や山川南本村遺跡などの集落が高良山北麓の斜面にみられます。墓地と集落との間に位置する大島遺跡では、銅剣が出土したと伝わっています。この銅剣は残念ながら現存しませんが、大陸の青銅器文化が山川校区にも及んでいたことがわかります。

高良山の北麓には多くの古墳が築かれました。山川校区の東に位置する山本町や草野町、田主丸町には多数の古墳が分布しますが、山川校区の古墳で調査が行われたことがあるのは七曲山古墳群のみで、その他の古墳について詳しいことは分かっていません。同じ時代の集落は新婦遺跡や太郎原遺跡で見つかり、集落が川沿いにも広がり始めます。

古代には、神籠石式山城である高良山神籠石が築かれ、現在も石列の一部が残ります。高良山北麓には、『日本書紀』に記された筑紫大地震（678年）の震源になったと考えられる水縄断層が山裾を横断しています。水縄断層は、いくつかの断層が集まった断層帯で、山川前田遺跡から水縄断層の一部である追分断層が発見されました。現在、国の天然記念物に指定され、保存されています。

鎌倉時代には、筑後川の渡河施設である「神代の浮橋」が『絹本著色観興寺縁起』に描かれ、浮橋を管理していた神代氏の屋敷があったようです。室町時代には、安国寺が創建され、高良山中に古宝殿城や鶴ヶ城、吉見岳城といった山城が築かれました。

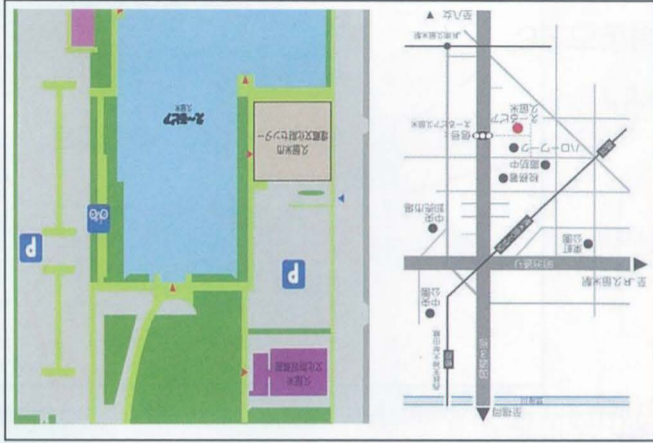
校区の北東部一帯には、古代の采里制に由来する地割が残り、御井郡と山本郡の境界線が推定されています。その境界線と日田へ通じる山辺の道との交差点に、元禄8年（1695）、郡界標が設置され、今も同じ場所に残っています。

山川校区には、これらの遺跡や文化財のほかにも、神社や祠、石碑、石像が数多く残っています。この地図を片手に校区散策はいかがでしょう？

■ 山川校区の文化財

遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1 安国寺遺跡	旧石器時代～平安時代	旧石器や縄文時代早期の集石遺構、弥生時代後期の竪穴住居、平安時代の土壌墓が確認されています。
2 神代遺跡 (神代氏館跡)	中世	中世に神代の渡しを管理した、神代氏の館の跡だと考えられています。
3 松ヶ本遺跡	中世	神代氏館跡に伴うとみられる杭列を発見しました。
4 神代川底遺跡	弥生～中世	弥生土器や土師器、瓦器などが採集された水中遺跡です。
5 神代の渡し跡	中世～近代	大正時代まで渡し舟があった場所です。
6 渡屋敷遺跡	中世	神代の渡しを管理した屋敷があったとされています。
7 野口遺跡	旧石器時代～縄文時代 鎌倉時代	旧石器から縄文時代後期の集落遺跡です。縄文時代前期の土器は野口式土器と命名され、九州各地で出土しています。
8 大島遺跡	弥生時代	久留米藩士矢野一貞が著した『筑後将士軍談』には、銅剣が出土したとあります。発掘調査では溝や土坑が見つかりました。
9 於黒遺跡	古代	土師器や埴輪などの土師器が出土しています。
10 新婦遺跡	弥生時代～古墳時代	弥生時代前期の土坑や古墳時代中期の竪穴住居を発見しました。
11 栗林遺跡	不明	土師器などの遺物が散布しています。
12 北栗林古墳	古墳時代	詳しいことはわかりませんが、円墳と推定されます。
13 別当山遺跡	古代・中世	古代の集落跡と推定されます。また、「別当」という地名から、寺院に関連する館の可能性が考えられます。
14 別当山古墳	古墳時代	円墳があったと言われていたようですが、現存しません。
15 山川前田遺跡	平安時代 鎌倉時代	平安時代の終わりから鎌倉時代にかけての溝や土坑が見つかりました。
16 阿志岐坂遺跡	古代～中世	土師器や青磁が採集されています。
17 王子山遺跡	古代	土師器が散布しています。
18 王子山古墳	古墳時代	円墳だったと言われていたようですが、現存しません。
19 鶴ヶ城古墳	古墳時代	円墳だったと言われていたようですが、現存しません。
20 鶴ヶ城経塚	古代	石組の中から、陶製経筒3本が出土しました。
21 松門寺遺跡	不明	遺物が散布していると言われていました。

■ 久留米市埋蔵文化財センターのご案内



久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター

久留米市埋蔵文化財センターは、久留米市内の遺跡から出土した土器や陶器、写真などの記録を収録・整理・研究するため、平成6年4月に開設しました。センターでは、考古資料の展示や文化財に関する相談に応じます。また様々な展示会を開催し、合わせて体験学習や出前講座も行っています。お気軽にお越しください。

久留米市埋蔵文化財センターのご案内

久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター
 〒830-0614 久留米市埋蔵文化財センター

山川校区の文化財マップ
 発行：久留米市教育委員会
 編集：久留米市民文化財部
 文化財保護課
 印刷：永松印刷
 久留米市中央町20-22